

塩尻市キャリア教育 グラントデザイン

令和7年4月

塩尻市教育委員会
塩尻市辰野町中学校組合教育委員会

目次

1	時代背景及びキャリア教育の必要性	1
2	本市の子どもたち	2
3	本市のキャリア教育の目標	3
4	本市のキャリア教育で育てたい資質・能力	4
5	本市のキャリア教育の方向性	5
	（1）探究型キャリア教育	5
	（2）ふるさとキャリア教育	6
	（3）小中高一貫したキャリア教育	7－8
6	参考資料	9
	（1）キャリア教育とは	9
	（2）学習指導要領での扱い	10
	（3）キャリア教育を通して育成する 「基礎的・汎用的能力」	11

時代背景及びキャリア教育の必要性

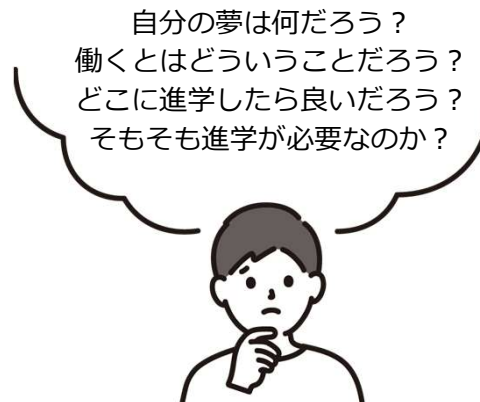
背景



現在はVUCAの時代と言われ、**予測困難で先行き不透明な時代**です。人口減少や少子高齢化、グローバル化、技術革新などにより、社会全体が急速に変容しています。

こうした変容は教育環境にも大きな影響を与えており、学校教育においても順応していく必要があります。

課題



VUCAの時代による様々な影響を受け、

- ・勤労観や職業観の確立の遅れ
- ・精神的・社会的自立の遅れ
- ・生活経験・社会経験などの機会の喪失
- ・キャリア設計がないまま進学・就職などの課題が生じてきています。

必要性



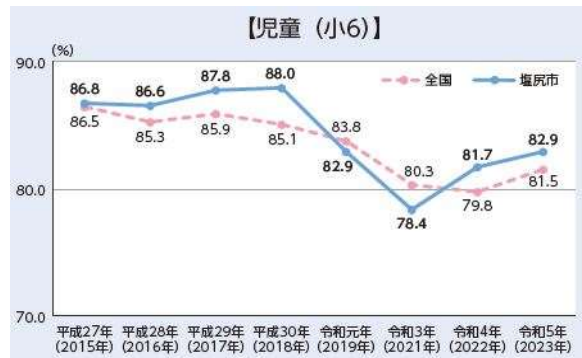
社会人として自立した人を育てる観点から

- ・学校の学習と働くことの**接続**
- ・生涯にわたり**学び続ける意欲や態度**
- ・発達に応じた指導の**継続性**
- ・家庭や地域との**連携**

などを意識したキャリア教育が求められます。

本市の子どもたち

①夢や目標を持つ生徒の割合が低下傾向



- 概ね全国平均より高い割合で、全国の傾向と同様に推移してきています。
- 生徒と比較すると割合は高くなっています。

- 概ね全国平均より高い割合で推移してきています。
- 長期的にみると割合は年々低下しています。



全国学力状況調査より

②総合的な学習の時間に主体的に取り組む児童生徒が少ない



- 全国平均より低い割合で、全国の傾向と概ね同様に推移してきています。
- 全国平均との差は縮小してきています。

- 全国平均より低い割合で、全国の傾向と概ね同様に推移してきています。



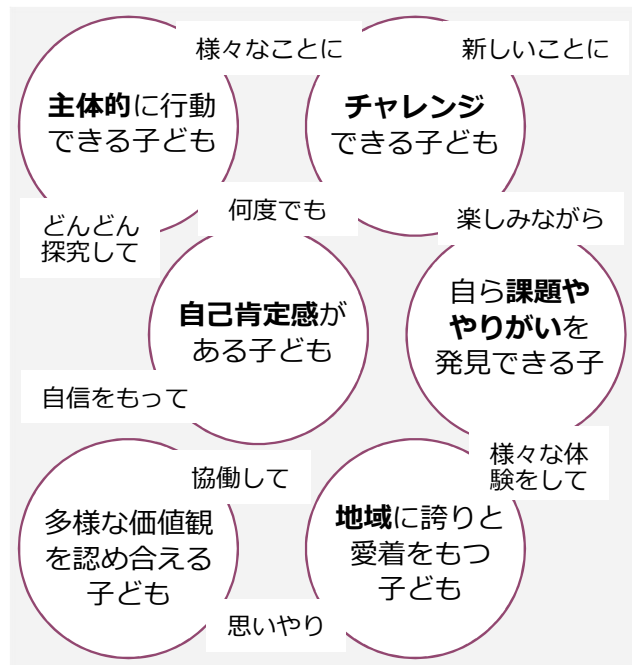
全国学力状況調査より

本市のキャリア教育の目標

自分の将来に夢や目標を持ち、自分の良さや可能性を信じて何度でもチャレンジできる子どもの育成

地域を知り、課題解決に向けて主体的・協働的に探究し、積極的に社会を形成しようとする子どもの育成

キャリア教育支援協議会及びキャリア教育委員会
合同会議ワークショップより（R6.10.10）



第二次塩尻市教育振興基本計画より

育てたい人間像

（１）「社会を生き抜く力」を備えたひと

先を見通すことが難しい時代の中でも、子どもたちが、多様な価値観を理解し、自分の将来に夢や目標を持ち、主体的に学び・探究しながら、他者と協働して社会を生き抜く力を高めていくことが大切です。

「社会を生き抜く力」は、「知」・「徳」・「体」という３つの要素からもたらされます。この力を高めていくために、「好き」や「楽しい」という感覚を持って取り組める「ワクワク」する主体的な学びをつくることを重視します。

（２）郷土を知り、誇りと愛着をもったひと

郷土に対する誇りと愛着は、このような地域のよさを体験し、気づき、自分のものとする学びを通して、広く社会で活躍する際の自らの拠り所として、自己を支えるものとなります。

子どもたちが、大人になってからも「ここで育ってよかった」と感じられる学び・体験を大切にします。

キャリア教育を通して育成する
「基礎的・汎用的能力」より

人間関係形成・社会形成能力

他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ 等

自己理解・自己管理能力

自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動 等

課題対応能力

情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善 等

キャリアプランニング能力

学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善 等

※詳細は11ページ参照

キャリア教育で育てたい資質・能力

自分の将来に夢や目標を持ち、自分の良さや可能性を信じて何度でもチャレンジできる子どもの育成

地域を知り、課題解決に向けて主体的・協働的に探究し、積極的に社会を形成しようとする子どもの育成

【目標】

【育てたい
資質・能力】
(分野)

【育てたい
資質・能力】
(具体例)



本市のキャリア教育の方向性

(1) 探究型キャリア教育（総合的な学習（探究）の時間及び特別活動を核としたキャリア教育）

これまで



Case 01 職業調べや企業見学、職場体験、各種体験のみを実施してキャリア教育とする

- キャリア教育では職業や企業等を知ることだけを目指してはいけません。
- 働く意義は何か、働くことを通してどのような自分らしい人生をおくりたいのかを考えていくことが大切です。
- 体験や活動あって学びなしにならないことが重要です。



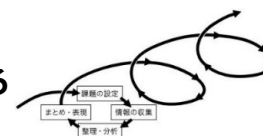
Case 02 進学先調べや受験のための勉強、進路指導を持ってキャリア教育とする

- 進路指導はキャリア教育の一部にすぎません。
- 進路は年々多様化しており、数ある選択肢の中から自己決定していく必要があります。
- 夢や目標、キャリア設計をもって勉強、進学することが重要になります。

これから



Point 01 学習過程を探究（的）にする 事前事後学習を充実させる



- 日常生活や社会に目を向け、児童・生徒が自ら課題を設定します。
- 探究の過程を意識します。
- 自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返されるようにします。



Point 02 社会的・職業的自立に向けて必要となる 資質・能力を育成する

- 社会の一員として生涯活躍し続けられるように学校での学習と働くことの接続を意識します。
- 夢や目標の実現のため、進学して何を学び、何をしたいのかを大切にします。
- 働く意義や生きがいを基にキャリアについて考えます。

本市のキャリア教育の方向性

(2) ふるさとキャリア教育

塩尻市（地域）で学ぶ

- 塩尻市だから学べる貴重な体験をします。
- 塩尻市内の学校で学び、誇りと愛着を持ちます。

【塩尻市の学校】

- ・小学校 8 校
- ・中学校 5 校
- ・義務教育学校 1 校
- ・高等学校 3 校

塩尻市（地域）を学ぶ

- まずは塩尻市を知るところから始まります。
- 特産品、観光名所、地域の大人、地域の企業、塩尻市の取組、塩尻市の課題などについて学習します。

【塩尻市の特色の例】

- ・ぶどう・レタス・ワイン・奈良井宿・短歌館・平出遺跡・高ボッチ・えんぱーく・えんてらす・木曽漆器・自動運転・すなば・Core塩尻 など

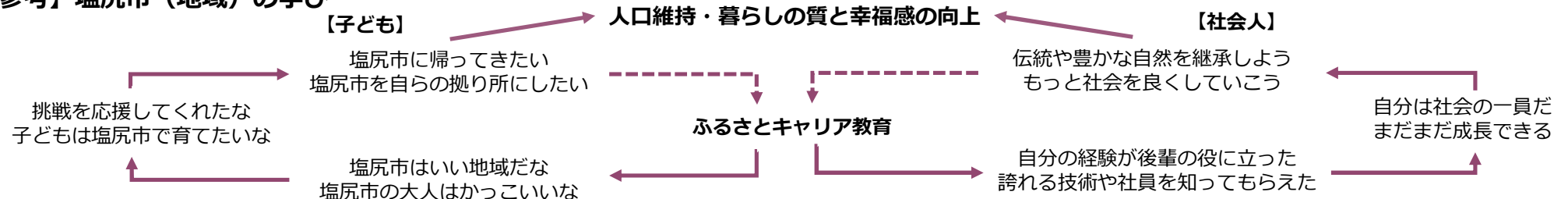
塩尻市（地域）と学ぶ

- 塩尻市には教職員だけでなく、子どもの学びを応援してくださる多様なパートナーがいます。
- パートナーと協働することで、教職員だけでは実現できない学習ができます。

【パートナーの例】

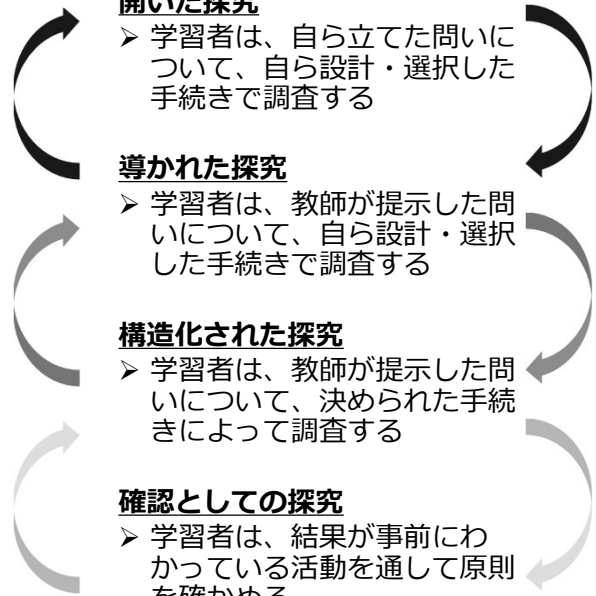
- ・地域の大人・PTA・企業・事業所・NPO法人・各種団体・各種組合・大学・行政関係機関 など

【参考】塩尻市（地域）の学び



本市のキャリア教育の方向性

(3) 小中高一貫したキャリア教育

	職業的（進路） 発達段階	職業的（進路）発達課題	探究のレベル	視点のレベル
高等学校	現実的探索・試行 と社会的移行準備 の時期	- 自己理解の深化と自己受容 - 選択基準としての職業観・勤労観の確立 - 将来設計の立案と社会的移行の準備 - 進路の現実吟味と試行的参加	 開いた探究 ➤ 学習者は、自ら立てた問いについて、自ら設計・選択した手続きで調査する 導かれた探究 ➤ 学習者は、教師が提示した問いについて、自ら設計・選択した手続きで調査する 構造化された探究 ➤ 学習者は、教師が提示した問いについて、決められた手続きによって調査する 確認としての探究 ➤ 学習者は、結果が事前にわかっている活動を通して原則を確かめる	自分と世界 自分と塩尻市・長野県 自分と人生 自分に対する受容
中学校	現実的探索と暫定的 選択の時期	- 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 - 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 - 進路計画の立案と暫定的選択 - 生き方や進路に関する現実的探索		自分と世界 自分と長野県 自分と地域・塩尻市 自分と進路・将来 自分に対する理解
小学校	進路の模索・選択 にかかる基盤形成 の時期	- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 - 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 - 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 - 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成		自分と塩尻市 自分と地区・自然 自分と学級・学年・学校 自分と家族・友達 自分に対する関心

引用：国立教育政策研究所「児童生徒の職業感・勤労感を育む教育の推進について」（平成 14 年 11 月）
 Inquiry comes in various forms. By Heather Banchi and Randy Bell

本市のキャリア教育の方向性

	基礎	自己	受容	協働	挑戦	郷土
高等学校	教科横断型のキャリア教育により各教科における資質・能力を育成する	☐ 自分の能力や適性を受け入れ、それらをさらに改善・向上させようと進んで学ぶことができる ☐ 様々な葛藤と向き合い、試行錯誤をしながら取り組むことができる	☐ 相手の話に真摯に耳を傾け、理解しようとするができる ☐ 多様な価値観や個性を受容し、状況や場面にあった言動をすることができる	☐ 言語・非言語を効果的に活用しながら、自分の意見や考えを正確に伝えることができる ☐ 周囲の人に依頼をしたり、連携したりするなど必要な協力者を巻き込みながら活動できる	☐ 様々な課題に対し、社会の動向を踏まえて多面的・多角的に考え、独自の発想で解決できる ☐ 自分なりの暫定的な価値観や勤労観、将来設計を確立し、それらを基に進路選択できる	☐ 社会の一員である自覚を持ち、積極的に社会を形成しようと行動できる
中学校		☐ 自分らしさや自分の個性を肯定できる ☐ 自分の感情に気づき、必要に応じて誰かに相談できる ☐ 自分の考えに基づいて判断し、自己決定することができる	☐ 相手の意見を聞き入れ、異なる意見であっても尊重することができる ☐ 他者に配慮しながら積極的に人間関係を築くことができる ☐ 自分の言動が他者に及ぼす影響を考えて行動できる	☐ 多様な意見や考えがある中で自分なりの意見を伝えることができる ☐ グループにおける自分の役割を理解し、グループメンバーと協働しながら取り組むことができる	☐ 学校や地域の課題を発見し、必要な情報を収集・分析・活用しながら解決するために行動できる ☐ 興味・関心に基づき、勤労の意味や進路について考えることができる	☐ 学校や地域の活動に積極的に参画し、繋がりを大切にしようとする ☐ 社会の一員であることに気づき、社会の課題を自分事として捉えることができる
小学校 高学年		☐ 自分の得意・苦手なことに気づき、自分らしさを発揮できる ☐ 困難なことにも忍耐強く取り組もうとする ☐ 指示されたことだけでなく、自分で考えて行動できる	☐ 相手の話に耳を傾け、理解しようとするができる ☐ 相手の立場にたって考えて行動できる ☐ 困っている友達や後輩を手助けすることができる	☐ 異なる意見を聞き入れ、よいと思うことを発言できる ☐ 必要に応じて誰かに協力を依頼しながら活動に取り組むことができる	☐ 身近な課題を見つけることができる ☐ 必要な情報を探し、課題の解決方法を考えることができる ☐ 働くことの大切さや苦勞が分かる	☐ 学校をよりよくするために主体的に行動できる ☐ 社会生活には様々な役割があることに気づき、その大切さを考えることができる ☐ 関わった人に感謝の気持ちを伝えることができる
小学校 中学年		☐ 自分のよいところを見つけることができる ☐ してはいけないことを理解し、自制できる ☐ 失敗しても、諦めず再挑戦できる	☐ 人の話をしっかりと聞くことができる ☐ 自分と友達・家族の良いところを認め合うことができる ☐ 相手が嫌がることはしない	☐ 自分の意見や気持ちを分かりやすく表現できる ☐ 決められた時間やルールの中で生活できる ☐ 友達と学習や活動をする事ができる	☐ 学習や長期休みの計画を立てることができる ☐ 自分がやりたいことに進んで取り組める ☐ 興味のある職業について図鑑などで調べることができる	☐ 学年をよりよくするために行動できる ☐ 学級や学年における自身の役割を果たそうとする ☐ 自分たちの生活が当たり前でないことに気づく
小学校 低学年		☐ 自分の好きなこと・ものや嫌いなこと・ものを言う ☐ 自分のことは自分で行おうとする ☐ 指示されたことや決められたことに取り組もうとする	☐ 人の話をしっかりと聞こうとする ☐ 友達と仲良く遊び、助け合える ☐ 友達が嫌がることはしない	☐ 友達や家族と話し合える ☐ 学校にはルールや規律があることが分かる ☐ 友達を誘ったり、友達にお願いしたりしようとする	☐ 準備や片付けができる ☐ いろんなことに挑戦できる ☐ 家の手伝いを進んで行おうとする ☐ 漠然とした夢や希望を持つことができる	☐ 学級をよりよくするために話し合える ☐ 身近な人に挨拶できる ☐ 友達や家族に感謝や謝罪ができる

(1) キャリア教育とは

01 キャリア教育の定義

一人一人の**社会的・職業的自立**に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、**キャリア発達を促す教育**

02 キャリアとは

生涯の中で様々な役割を果たす過程で、**自らの役割の価値や自分の役割との関係を見出していく連なりや積み重ね**

03 キャリア発達とは

社会の中で**自分の役割**を果たしながら、**自分らしい生き方**を実現していく過程

参考

(2) 学習指導要領での扱い

小学校

総則

児童が、**学ぶことと自己の将来とのつながり**を見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、**自己の生き方を考えていくための**資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

中学校

総則

生徒が、**学ぶことと自己の将来とのつながり**を見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。その中で、生徒が自らの**生き方を考え主体的に進路を選択**することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。

総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、**自己の生き方を考えていくための**資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

高等学校

総則

生徒が、**学ぶことと自己の将来とのつながり**を見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。その中で、生徒が自己の**在り方生き方を考え主体的に進路を選択**することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。

総合的な探究の時間

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、**自己の在り方生き方を考えながら**、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

参考

(3) キャリア教育を通して育成する「基礎的・汎用的能力」

人間関係形成・社会形成能力

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

(例) 他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ 等

自己理解・自己管理能力

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

(例) 自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動 等

課題対応能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

(例) 情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善 等

キャリアプランニング能力

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

(例) 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善 等